

「第10回 日本栄養改善学会 東海支部会学術総会」の開催報告

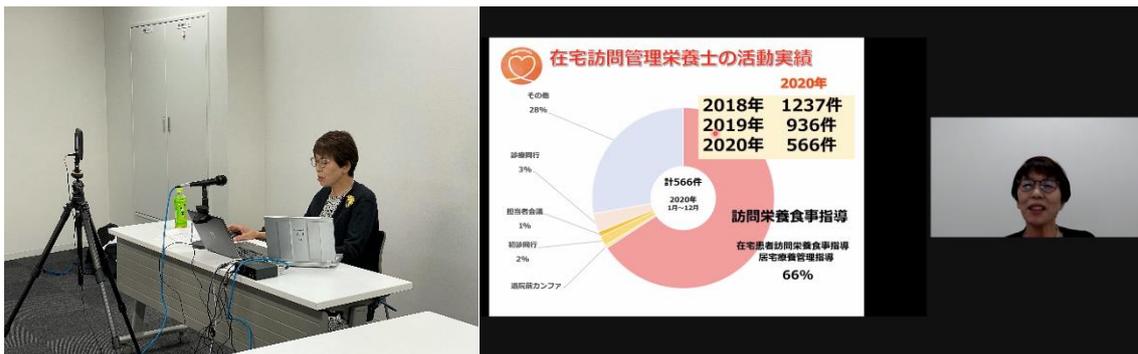
令和3年6月6日(日)、第10回日本栄養改善学会 東海支部会 学術総会は、「在宅療養者への栄養・食事支援を考える」をテーマにオンライン形式にて開催しました。ご参加いただきました会員の皆様をはじめ、ご支援ご協力をいただいた各県栄養士会、システム運用サポートをいただきました皆様に御礼を申し上げます。

オンラインでの開催のため東海支部会に限らず、全国の会員の皆様にご参加を募りましたところ、関東・甲信越、北陸、近畿、九州・沖縄の支部会の方を含め60名のご参加をいただきました。心より御礼申し上げます。

はじめてのオンライン開催となり、不行き届きの点もあり、ご不便・ご迷惑をお掛けいたしましたかと存じますが、何卒ご容赦くださいますようお願い申し上げます。

一般演題では、7演題(研究報告4演題、実践報告3演題)、誌上発表4演題ありました。活発な質疑応答が行われ、学术交流を深めることができました。また、川崎医療福祉大学の永見慎輔先生に教育講演「在宅療養者の摂食嚥下機能を押し量る」、総合在宅医療クリニックの安田和代先生に市民公開講座「最期まで食べ続けられる地域をめざして～在宅訪問管理栄養士の視点から～」についてご講演いただきました。いずれも満足度の高いご講演であったとの評価を受けております。講師の皆様感謝申し上げます。

学術総会に関わっていただきました皆様に心より感謝申し上げます。皆様のさらなるご研究ご活躍を心より祈念申し上げます。



第10回大会長

岐阜市立女子短期大学 准教授 山田紀子